

氏名	木戸聡史	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	呼吸理学療法、リハビリテーション工学				
学位	博士（工学）、修士（理学療法）				
学歴	2003年 札幌医科大学保健医療学部理学療法学科卒業、2005年札幌医科大学大学院保健医療学研究科理学療法専攻博士課程前期修了、2018年千葉大学工学研究科博士課程修了				
経歴	2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教、2016年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科准教授・保健医療福祉学部理学療法学科准教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士学会、日本呼吸理学療法学会、日本支援工学理学療法学会、日本呼吸ケアリハビリテーション学会、専門リハビリテーション研究会、埼玉県理学療法士会（学術編集部部員）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、呼吸機能イメージング研究会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	基礎運動学テキスト	共著	あり	南江堂、304ページ	藤縄理、濱口豊太、金村尚彦、阿南雅也、木戸聡史他	2025.3	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Short Physical Performance Battery and Cardio-Ankle Vascular Index Association in Older Patients with Heart Failure.	共著	○	○	International heart journal 65(5) 866-872	Shinya Kanzaki, Akihiro Ogawa, Yuki Ikeda, Msahiro Iwakawa, Takahiro Nakagami, Satoshi Kido, Arata Nakajima, Kazuhiro Shimizu	2024.9
2	Examining the association of external abdominal pressure with muscle mass and low back pain in older adults	共著	○	○	Journal of Musculoskeletal Research 28(1)2450020	Shinya Ogaya, Masahiko Shimamura, Kenta Horiuchi, Satoshi Kido	2024.11
3	Physiological effects of combined breathing and physical training in middle-aged and older adults.	共著	○		Journal of physical therapy science 37(1) 6-11	Satoshi Kido, Akiko Sato, Yasuhiro Nakajima, Masataka Murata, Tomoya Miyasaka, Wenwei Yu	2025.1
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	敗血症患者における骨格筋量が長期予後に与える影響	共		第52回 日本集中治療医学会学術集会	○阿部遼、島居傑、前谷祐亮、菅生真行、小川明宏、善田督史、石渡正浩、北村伸哉、木戸聡史	2025.3	
2	近赤外線分光法を用いた複数の呼吸筋と活動筋における筋酸化動態測定信頼性検証	共		第32回運動生理学会大会、金沢市	○佐藤直文、奥村崇幸、新田真之介、小栢進也、今北英高、木戸聡史	2024.8	
3	Changes in volume of lung lobes in patients with interstitial lung disease	共		Joint Meeting of JSPFI and IWPF 2024	○Masashi Zenta, Natsuko Maemiya, Minami Akama, Satoshi Kido	2024.8	
4	Relationship between lung volume and endurance in patients with interstitial lung disease	共		ERS Congress 2024	○Masashi Zenta, Natsuko Maemiya, Minami Akama, Satoshi Kido	2024.9	

5	等尺性収縮運動による動脈弾性能の即時的な変化と関連因子の検討	共	第8回日本循環器理学療法科学大会、仙台	○小川明宏, 神崎慎也, 寺山圭一郎, 秋葉崇, 寺本博, 南波あかり, 藤田悠華, 宮川万里子, 小川竜輝, 阿部遼, 菅生真行, 善田督史, 木戸聡史, 中島新, 清水一寛	2024.11
6	回復期リハビリテーション病棟入院中の運動器疾患を有する高齢女性における呼吸筋力とサルコペニアの関係	共	第32回埼玉県理学療法学会、埼玉県	○宮前菜津子, 真水鉄也, 善田督史, 赤間美波, 木戸聡史	2025.1
7	リハビリテーションにおける生成AIの活用事例と課題	単	第13回日本支援工理学療法学会学術大会、東京都	○木戸聡史 (SIGシンポジスト)	2024.12

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	2024年度奨励研究A研究_A10	Chest wall motion 解析における呼吸筋モデル開発	研究代表者	2024.4-2025.3

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	内部障害理学療法学	○	4	内部障害系領域の理学療法について講義を行った
2	呼吸理学療法学	○	8	呼吸機能生理・呼吸運動生理に基づいた学修と計測機器を用いた呼吸の解析を実施した
3	身体機能運動学		1	運動負荷試験について講義を行った
4	理学療法応用技術学H (内部新領域)	○	8	内部障害の新たな領域について講義を行った
5	大学院博士前期 内部機能障害治療学特論	○	15	内部機能障害の病態理解および治療に関連した知識/技術を習得するために、講義・論文抄読・ディスカッションなどを行った
6	大学院後期課程 IPWシステム開発論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義を行った
7	大学院前期課程 IPW論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義を行った
8	大学院前期および後期課程 リハビリテーション教育学II		2	卒後教育の実践と現状について講義を行った
9	大学院前期および後期課程 理学療法症候障害学特論		1	内部疾患における呼吸機能・呼吸筋機能の評価方法や分析方法について、最新の知見を交えて解説した

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	理学療法特別演習		1	理学療法士国家試験に準拠した内容を、単元分野ごとに整理するため、心肺系の解剖・生理・運動学・病態・理学療法についてポイントを絞って講義した
2	基礎運動療法学演習	○	3	運動療法の基盤となる運動生理学について講義と演習指導を行った
3	理学療法研究法演習		1	自身の研究領域に関する講義を行った
4	大学院博士後期 理学療法症候障害演習		1	内部疾患に対する運動負荷試験から得られる生理学データなどを用い、運動処方について機器による測定方法の実験計画とデータ収集方法について演習を行った
5	大学院博士前期 リハビリテーション学演習 (内部機能障害治療学)	○	30	内部機能障害の病態理解および治療に関連した知識/技術を習得するために、講義・論文抄読・ディスカッションなどを行った

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	内部障害理学療法学実習	○	後期 12	内部障害系領域の症例に対する理学療法の評価・治療について実技指導を行った
2	運動学実習		前期 20	グループに分かれての実習について動作分析および体力良好と運動処方を担当した
3	理学療法セミナー（OSCE1）		前期 15	臨床教育実習Ⅱに向けて理学療法実践の場における対人関係や对患者関係能力を身につけるため、学生の個別指導を行った
4	理学療法セミナー（OSCE2）		後期 15	臨床教育実習Ⅲ,Ⅳに向けて理学療法実践の場における対人関係や对患者関係能力及び理学療法の基本的評価・治療技術を身につけるため、学生の個別指導を行った
5	臨床教育実習Ⅰ		2025.2	検査測定を中心とした実習後指導を行った
6	臨床教育実習Ⅱ		2024.9-2024.10	理学療法評価習得を中心とした実習中、実習後の指導を行った
7	臨床教育実習Ⅲ		2024.4-2024.6	総合実習においての実習中、実習後の指導を行った
8	臨床教育実習Ⅳ		2024.6-2024.7	地域・特定領域においての実習中、実習後の指導を行った
9	IPW実習	○	前期 45	IPW実習の科目において学生担当、地域担当を行った。
10	応用運動療法学実習		前期 8	内部障害系領域の症例に対する運動療法について指導を行った
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.3	主指導 8名	副指導 0名
2	修士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 3名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	学部ゼミ	2024.4～2025.3	学部ゼミ生の研究指導として週1回程度開催した	
2	大学院ゼミ	2024.4～2025.3	大学院生の研究指導として月2回程度開催した。その他研究チームミーティングを随時行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	夏の体力測定会2024	埼玉県立大学	埼玉県立大学近隣地域在住高齢者71名の身体機能測定 (2024年8月27-8月29日)	2024.8
3	茨城県立医療大学博士論文学外審査員	茨城県立医療大学	博士論文の学外審査員を務めた	2024.12-2025.1
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本支援工学理学療法学会	第2回先端技術・福祉用具合同フォーラム準備委員		2024.10-2025.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学科等における委員会等	理学療法学科2年次生担任	2024.4～2025.3
2	学科等における委員会等	理学療法学科臨地実習教授会運営	2024.4～2025.3
3	学科等における委員会等	学部入試実施部会員（オープンキャンパス・高校訪問・学内での高校生への説明等）	2024.4～2025.3
4	学科等における委員会等	IPW実習科目責任者会担当	2024.4～2025.3
5	学科等における委員会等	実習室備品管理担当	2024.4～2025.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		